



緩和ケアだより

平成27年度 第2号



緩和ケア研修会報告

今年も7月18, 19日に延べ36名参加により、秋田大学医学部附属病院緩和ケア研修会を開催させていただきました。この研修会定期実施は、平成20年3月1日付け健発0301001号健康局長通知により、がん診療連携拠点病院の指定要件になっております。さらに、本年度からは、プログラムの一部変更(追加)があり、新基準で開催しました。さらに、拠点病院医師は以下の基準で平成28年度末までの受講が義務化されています。

- ・がん診療に従事するすべての医師・歯科医師
- ・平成26年卒後のすべての医師（卒後5年以内）
- ・病院幹部



研修会修了者バッヂ

当院では、平成26年度末の時点での研修会修了者は対象者の15%程度であり、拠点病院の指定要件にもなっておりますので、今後1年半の間に対象の皆様にご受講いただく必要があります。緩和ケアセンターでは、今年度は平成28年2月20, 21日に第2回目の研修会を予定しております。来年度も2回開催予定しております。秋田県内11拠点病院でも随時開催されておりますので、お忙しいとは思いますが、是非、計画的にご受講いただくことをお願いいたします。

（緩和ケアセンター長 安藤秀明）

～ 緩和ケア研修会受講修了によるメリット～

- ・がん性疼痛緩和指導料加算（100点→200点）
- ・がん患者指導管理料1, 2（500点、200点）
- ・在宅悪性腫瘍患者共同指導管理料（1,500点）
- ・研修会修了者バッヂ



施設名	開催予定日	セッション
雄勝中央病院	11月14日(土)	A
	11月15日(日)	B
市立秋田総合病院	2月 6日(土)	A
	2月 7日(日)	B
秋田大学医学部附属病院	2月20日(土)	A
	2月21日(日)	B



※申込み等詳細については、各施設にお問い合わせください。

緩和ケア研修会の様子

改めて、再開発後の緩和ケアセンターの場所についてお知らせします。

外来棟2階、外来化学療法室と大会議室の間にある角のスペースに位置します。奥まっているのでわかりにくいかもしれませんが、緩和ケアセンターの旗が目印となります。ピンクと水色の2パターンがあり、患者向けの教室や研修会、イベント時に掲げています。患者さんたちにも少しでも緩和ケアセンターの存在を知っていただければと思い作成しました。



5月からがん診療に携わる診療科外来において、順次「苦痛のスクリーニングシート」の導入を進めております。外来患者さんの気がかりにタイムリーに対応していただくための問診票となります。多忙な業務の中、外来看護師、医師、クラークの皆様の親身な対応に頭が下がる思いです。今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。

(緩和ケアセンター 看護師 今野麻衣子)



緩和ケアQ & A

Q. せん妄・鎮静に関する次の記述のうち、正しいものはどれでしょう？

- ① 終末期がん患者の約5割がせん妄を生じる
- ② 鎮静を受けた患者では受けなかった患者に比べて生命予後が短い
- ③ せん妄に対する薬物療法では、デパス、ワイパックスなどの抗不安薬が有効である
- ④ ドルミカムの長期使用によって耐性が生じることがある

○ ① せん妄は終末期がん患者の約5割が生じる。○ ② 鎮静を受けた患者では受けなかった患者に比べて生命予後が短い。○ ③ せん妄に対する薬物療法では、デパス、ワイパックスなどの抗不安薬が有効である。○ ④ ドルミカムの長期使用によって耐性が生じることがある。

